Ⅵ　薬効薬理に関する項目

1．薬理学的に関連ある化合物又は化合物群

シニストリン（sinistrin）

2．薬理作用

（1）作用部位・作用機序[2,3]

イヌリンは薬理活性を有しないことが報告されている。

（2）薬効を裏付ける試験成績[2～5]

静脈内投与されたイヌリンは、糸球体毛細血管を自由に透過し（透過率Kinulin=1.06）、尿細管では分泌も再吸収もされないことから糸球体ろ過量（GFR）測定のための標準物質として用いられており、真のGFRを示すとされている。